

# 令和8年度 学校教育目標

## 1 学校教育目標

### 自ら学び 心豊かな 活力あふれる生徒の育成

◇学校教育目標を『あい』というキーワードで示します。

〇〇あい

「学びあい(あい)」→「自ら学び」につながります。

「認めあい」→「心豊かな」につながります。

「磨きあい」→「活力あふれる」につながります。

学びあい、認めあい、磨きあいにより  
一人一人が「輝く」生徒になる

根っことなる4つの「あい」

一つ目の「あい」→「挨拶」・・・「挨拶」は、気持ちを伝えあうコミュニケーションの第一歩。

「挨拶」を通して、学級、学年、学校全体へと、コミュニケーションの輪が広がっていくことを期待しています。→学校教育目標の土台となる部分です。

二つ目の「あい」→「アイディア」・・・「アイディア」は、「考え」という言葉に置き換えることができます。自ら学び、考え、表現することを通して、確かな学力が身に付いていくことを期待しています。→「自ら学び」につながります。

三つ目の「あい」→「愛情」・・・「愛情」とは、相手を思う温かな気持ちと言えます。相手を思いやり、互いを認め合い、協力し合い、高め合える、心豊かな人間関係づくりを期待しています。→「心豊かな」につながります。

四つ目の「あい」→英語で「私」を意味する「I」・・・「私」、つまり自分自身を大切にしてほしいと思っています。心と体の調子に気を配り、生き生きと活力あふれる学校生活を送ることを期待しています。→「活力あふれる」につながります。

## 2 生徒の指標 **自主** **協力** **実行**

◎目指す生徒像

- (1) 進んで学びあい、確かな学力を身に付ける生徒
- (2) 長所を認めあい、他を思いやる生徒
- (3) 責任感をもち、勤労・奉仕活動に励む生徒
- (4) 心身を鍛え、互いに磨きあい、粘り強く実践する生徒

## 3 今年度の重点目標

**(1) 確かな学力を身に付けます** ◇「わかる授業」の推進と学力の向上を目指します。

わかる授業」に向けた5つのポイント

- ① 学びの基盤を支える「学習規律」
- ② 板書に「めあて(学習目標)」、「まとめ(振り返り)」
- ③ 「基礎・基本」の確実な定着
- ④ 思考・判断・表現力育成のため、授業(単元)に「話し合う活動」と「書く活動」
- ⑤ 「まとめ(振り返り)」のための時間の確保

**(2) 豊かな心を育みます** ◇読書活動を推進します。 ◇子どもの人権を尊重します。

**(3) 健やかな体を育てます** ◇学校体育の充実と健康に対する意識の向上を図ります。

**(4) 質の高い教職員を目指します** ◇同僚性の向上・維持に努めます。 ◇研修を充実させます。

**(5) 魅力ある教育環境を整えます** ◇ギガタブの有効活用を図ります。 ◇「オオガハス」を咲かせます。

**(6) 個別の支援が必要な児童生徒へのサポートを充実させます**

◇生徒理解に基づく生徒指導の充実を図ります。 ◇ステップルームを効果的に活用します。

**その他** ◇学校HP、すぐーるを有効活用します。